

## 2008年度ジュニアリーグ

優勝 Bチーム 8勝 2敗 2分

監督 野 内 直 己 主将 関 敬 一

片桐 広景	金田 不二雄	田村 陽平
佐藤 智徳	小林 恵一	関 敬 一
弦間 好文	水上 芳範	戸村 真二
古川 克支	金丸 和彦	

### ◎公式戦記録第34期勝敗表

ジュニアリーグ 第12戦まで(全日程終了) \*引分試合は、0.5勝、0.5敗で勝率計算

順	チーム	B	A	C	D	勝	負	分	勝率	得点	失点	打率	防御率
1	B	***	○●○●△	○○	○○△○○	8	2	2	0.750	44	29	.235	2.61
2	A	●○●○△	***	○○△●●	○○	6	4	2	0.583	35	57	.230	1.93
3	C	●●	●●△○○	***	○○●●○	5	6	1	0.458	46	31	.236	2.30
4	D	●△●●●	●●	●●○○●	***	2	9	1	0.208	25	36	.200	3.50

### 【優勝監督コメント ジュニアBチーム監督 野内 直己】

初めて監督に選んで頂いた今年度を優勝という最高の結果で終えることが出来、感無量です。

近年になく戦力が均衡した今シーズンは、予想通り接戦の連続でした。勝っても負けてもほとんどの試合が1点差！特に優勝がかかった終盤に1対0の試合が2試合続いたのは本当にシビレました！

接戦を何とか制す事が出来たのはチームワークがどこよりも良かったからだと自負しています。メンバーの気持ちが最後までひとつになって常に良い雰囲気で戦えた事が優勝の原動力になりました。

戦術的には「いかにノーヒットで点を取るか！」をスローガンに四球やエラーで出塁、そしてバントは一切せず徹底的に走りまくりました。四球やエラーで出塁し2盗、3盗、そして内野ゴロでホームインという得点で決勝点をもぎ取った試合がいくつもありました。コメッツ野球で勝つために一番重要な事は出塁と盗塁だと再認識させられました。特に盗塁は恐らく誰が走っても成功率は9割以上！走らない手はありません。12試合でチーム盗塁数はちょうど100個！1試合平均8.3盗塁というのは長いコメッツ史上にも例を見ないのでないでしょうか！チームの皆さん！出塁重視のつなぎの野球という地味でつまらない戦術に1年間付き合って頂きありがとうございました。全員で勝ち取った優勝を誇りに思い、これから糧としてチームが変わらぬ来年以降もコメッツを皆で盛り上げていきましょう！

### 投手部門タイトル

- ☆ 最多勝利投手 野内 直己 (B) 7勝1敗
- ☆ 最優秀防御率 野内 直己 (B) 1.82
- ☆ 勝率1位 野内 直己 (B) 7勝1敗 .875
- ☆ 最多奪三振 野内 直己 (B) 40個
- ☆ 最多完封試合 野内 直己 (B) 2試合
- ☆ 最多無四球試合 伊藤 進 (A) 3試合

## 2008 年度投手成績表

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
1	11	野内 直己	1.82	11	65 1/3	274	47	0	40	24	30	17	9	2	2	7	1
2	88	久保田 豊男	1.97	6	32	145	26	0	26	18	20	9	4	1	0	2	3
3	83	伊藤 進	2.37	10	59	268	57	0	25	24	49	20	9	3	0	4	3
4	30	小柴 幸夫	2.55	9	44	189	37	1	23	16	20	16	5	0	0	2	4
5	68	柿崎 幸人	2.60	8	43	195	38	0	29	27	29	16	5	0	0	3	3
6	40	柳沢 誠	3.79	5	24	127	28	0	17	17	32	13	1	0	0	0	4

規定投球回未満

順位	背番	氏名	防御率	登板数	投球回	打者数	被安打	被本塁	奪三振	四死球	失点	自責点	完投数	無四球	完封数	勝利	敗戦
	41	金田 不二雄	0.00	1	1	7	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0
	25	名雪 順一	0.00	1	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	14	関 敬一	2.63	2	8	40	7	0	3	10	7	3	0	0	0	1	1
	75	手嶋 信夫	3.50	3	16	90	16	0	5	21	25	8	2	0	0	2	1
	53	金丸 和彦	4.20	1	1 2/3	11	4	0	0	2	4	1	0	0	0	0	0
	24	豊田 記剛	8.40	3	5	35	6	0	1	12	12	6	0	0	0	0	1
	91	中村 勝浩	14.00	1	1	6	3	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0

### 捕手部門タイトル

- ☆ 最多阻止数 久保田 豊男 (C) 7個  
 ☆ 最高阻止率 金丸 和彦 (B) . 1 4 7 ※規定出場回以上

### 打撃部門タイトル

- ☆ 首位打者 中村 康夫 (A) 0. 4 5 5  
 2 位 田村 陽平 (B) 0. 4 3 5  
 3 位 植竹 徹 (D) 0. 4 2 3  
 4 位 野内 直己 (B) 0. 3 9 1  
 5 位 千葉 克徳 (C) 0. 3 8 5
- ☆ 本塁打王 伊藤 進 (A) 1本
- ☆ 打点王 田村 陽平 (B) 11点
- ☆ 得点王 野内 直己 (B) 田村 陽平 (B) 各 13点
- ☆ 最高出塁率 田村 陽平 (B) 0. 6 2 9
- ☆ 盗塁王 田村 陽平 (B) 27個
- ☆ 四死球王 田村 陽平 (B) 12個
- ☆ 新人王 植竹 徹 (D)

## 2008 年度打擊成績表

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
1	55	中村 康夫	10	0.455	29	22	7	10	5	0	0	8	6	0	1	1	0	15	0.682	0.552
2	23	田村 陽平	12	0.435	35	23	13	10	3	0	0	11	12	27	1	0	0	13	0.565	0.629
3	37	植竹 敬	11	0.423	28	26	4	11	4	0	0	7	2	3	3	0	0	15	0.577	0.464
4	11	野内 直己	12	0.391	34	23	13	9	3	0	0	6	11	18	3	0	0	12	0.522	0.588
5	0	千葉 克徳	10	0.385	29	26	6	10	1	1	0	6	3	4	3	0	0	13	0.500	0.448
6	16	正木 茂	11	0.385	31	26	7	10	1	0	0	1	5	7	4	0	0	11	0.423	0.484
7	88	久保田 豊男	9	0.348	27	23	8	8	3	0	0	4	2	10	2	2	0	11	0.478	0.370
8	83	伊藤 進	12	0.344	34	32	7	11	4	0	1	7	2	1	4	0	0	18	0.563	0.382
9	15	木村 晃	12	0.324	38	34	12	11	4	2	0	3	4	25	3	0	0	19	0.559	0.395
10	99	須藤 聰之	11	0.308	30	26	6	8	4	1	0	4	4	3	5	0	0	14	0.538	0.400
11	63	戸村 真二	9	0.300	24	20	1	6	1	0	0	2	4	6	4	0	0	7	0.350	0.417
12	10	本多 良行	12	0.276	30	29	4	8	0	0	0	1	1	4	8	0	0	8	0.276	0.300
13	81	秋山 広	12	0.267	32	30	4	8	3	0	0	5	2	3	5	0	0	11	0.367	0.313
14	1	半田 英彦	9	0.261	26	23	5	6	2	0	0	1	3	6	1	0	0	8	0.348	0.346
15	12	前崎 義博	12	0.258	35	31	10	8	6	0	0	7	3	2	0	1	0	14	0.452	0.314
16	33	梅原 義信	11	0.250	29	28	5	7	0	0	0	5	1	5	7	0	0	7	0.250	0.276
17	3	小林 昭彦	11	0.240	28	25	3	6	0	0	0	2	3	4	6	0	0	6	0.240	0.321
18	41	金田 不二雄	12	0.233	36	30	12	7	1	0	0	5	6	18	3	0	0	8	0.267	0.361
19	75	手嶋 健夫	12	0.222	31	27	5	6	1	0	0	5	4	1	3	0	0	7	0.259	0.323
19	50	佐藤 智徳	12	0.222	32	27	6	6	0	0	0	4	5	8	3	0	0	6	0.222	0.344
21	29	星野 一美	11	0.217	32	23	6	5	1	0	0	2	9	10	3	0	0	6	0.261	0.438
22	4	片桐 広景	10	0.200	30	25	8	5	1	0	0	2	5	8	1	0	0	6	0.240	0.333
23	64	鈴部 義之	11	0.185	32	27	4	5	1	0	0	4	4	2	2	1	0	6	0.222	0.281
23	68	柿崎 幸人	11	0.185	31	27	5	5	1	0	0	3	4	5	3	0	0	6	0.222	0.290
23	69	栗原 恒男	11	0.185	28	27	3	5	2	0	0	4	1	1	2	0	0	7	0.259	0.214
26	67	本間 健二	10	0.182	25	22	3	4	2	0	0	3	3	5	5	0	0	6	0.273	0.280
27	30	小柴 幸夫	12	0.179	31	28	6	5	2	1	0	4	3	0	4	0	0	9	0.321	0.258
28	53	金丸 和彦	11	0.172	31	29	2	5	3	0	0	3	1	1	3	1	0	8	0.276	0.194
29	73	野坂 英明	12	0.156	36	32	3	5	2	0	0	1	4	0	7	0	0	7	0.219	0.250
30	98	安見 信二	11	0.154	27	26	2	4	0	1	0	3	1	1	3	0	0	6	0.231	0.185
31	43	鍋倉 敏	12	0.148	29	27	2	4	1	0	0	3	1	5	2	1	0	5	0.185	0.172
32	14	関 敬一	12	0.143	28	21	4	3	1	0	0	2	7	2	4	0	0	4	0.190	0.357
33	38	渡辺 慎司	10	0.136	28	22	7	3	1	1	0	7	5	3	5	1	0	6	0.273	0.286
34	77	大畠 敏祐	12	0.130	28	23	2	3	0	0	0	1	5	1	2	0	0	3	0.130	0.286
35	40	柳沢 誠	11	0.125	26	24	2	3	1	0	0	1	2	3	1	0	0	4	0.167	0.192
36	20	木村 豊行	11	0.111	34	27	7	3	1	0	0	3	7	8	10	0	0	4	0.148	0.294
37	26	近藤 福仁	11	0.083	26	24	1	2	0	0	0	0	2	1	9	0	0	2	0.083	0.154

規定打席数未満

順位	背番	氏名	試合数	打率	打席	打数	得点	安打	二塁打	三塁打	本塁打	打点	四死球	盗塁	三振	犠打飛	妨害	塁打	長打率	出塁率
	91	中村 勝浩	9	0.348	23	23	2	8	4	0	0	5	0	2	1	0	0	12	0.522	0.348
	28	島本 保弘	8	0.300	22	20	5	6	1	0	0	3	2	3	2	0	0	7	0.350	0.364
	56	小林 恵一	9	0.227	23	22	1	5	1	0	0	0	1	2	1	0	0	6	0.273	0.261
	25	名雪 順一	9	0.200	23	20	1	4	2	0	0	4	2	0	2	1	0	6	0.300	0.261
	58	古川 勝支	8	0.150	23	20	5	3	0	0	0	3	3	7	5	0	0	3	0.150	0.261
	72	弦間 好文	10	0.143	23	21	0	3	0	0	0	2	2	1	3	0	0	3	0.143	0.217
	35	浅井 治房	7	0.143	16	14	1	2	0	0	0	1	2	0	4	0	0	2	0.143	0.250
	24	豊田 記剛	8	0.133	20	15	3	2	0	0	0	3	5	3	0	0	0	2	0.133	0.350
	8	小澤 浩	7	0.077	17	13	1	1	0	0	0	0	4	2	2	0	0	1	0.077	0.294
	61	川島 大	9	0.056	22	18	4	1	0	1	0	0	4	5	3	0	0	3	0.167	0.227
	32	滝 敏夫	3	0.000	7	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.000	0.286
	65	佐藤 孝文	3	0.000	8	7	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0.000	0.125
	84	水上 芳範	1	0.000	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0.000	0.000
	34	塩谷 薫	1	0.000	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.000	0.000

## 2008年を振り返って

【事務局長 木川 史弘】

平成20年を振り返りまして一言ご挨拶申し上げます。

東京コメッツは本年よりホームグランドを全面的に大井グランドに移し試合を消化して参りました。残念ながら本年は5月、6月、7月と雨に悩まされ予備のグランドの手当てが出来ず、15試合のリーグ戦が12試合に終わってしまいました。チーム成績、個人成績で予定を狂わされた方も多かったと存じます。運営委員会としてもお詫び申し上げます。今後予備のグランド手当てに工夫が必要かと存じます。会員の皆様のお知恵を是非ともお借りいたしたいと存じます。

リーグ戦は大きな怪我人も出ず、無事終了することができました。1年間ご苦労いただきました運営委員及び監督の皆様には心より感謝申し上げます。リーグ戦以外にも会員相互間の交流を促進するため6月に大井グランドにおいてシニア、ジュニアの交流戦を実施、また同日にシニア、ジュニア連合軍が長野の全国生涯野球大会に参加いたしました。また、本年は還暦チームが活躍されました。7月の関東還連大会出場、9月の全還連岡山大会出場、Kリーグ秋季大会8部優勝がありました。特に全還連岡山大会参加ではコメッツの有志の皆さんによるカンパをしていただき後押しをしていただきました。

この席をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。おかげさまで大井グランドをご提供いただいております東還連に対し東京コメッツの存在をアピールすることができましたことをご報告申し上げます。

東京コメッツのモットーは会則にも明記されており「軟式野球を楽しみ、会員相互の親睦と心身の鍛錬を目的とし、勝ち負けは二義的とする」であります。来年度のリーグ編成につきましては、運営委員会・監督会で数回に渡り今年度の試合状況を精査、議論いたしました結果、次の三点を反映したリーグ・チーム編成することにいたしました。

- ①各チームの構成人数を均衡化し、助っ人負担を軽減させる。
- ②シニア・ジュニアの交流を図る。
- ③希望リーグでもプレーできるよう柔軟性を持たせる。

来年度も引き続き2リーグ制を継続し、このコメッツ精神を是非とも大事にして会員皆様全員がコメッツ野球を楽しんでいただけるよう工夫をしていきたいと存じます。更に会員相互間のコミュニケーションを促進するため、また会員増強の手段として引き続きインターネットの利用をすすめていきたいと存じます。ご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後に会員の皆様とそれを支えてくださるご家族のご健康をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。